

令和 3 年度使用

中学校用教科用図書研究資料

保健体育

教科用図書南那珂採択地区協議会

1 教科目標の達成及び教材の構成・配列等

〔観点1〕 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

| 発 行 者 | 概 評 |
|---------|--|
| 2 東 書 | <p>(1) 保健体育科の目標を達成するために、学年ごとに「保健編」の2つの章と「体育編」の1つの章でまとめてあり、学びと関連のある「章末資料」や「読み物資料」を設けるなど、生徒が主体的に学びを進めることができるような構成の工夫が見られる。</p> <p>また、小単元ごとに学習の進め方や課題が明示され、「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」という流れで、生徒が見通しをもって学習することができるような配列の工夫がなされている。</p> |
| 4 大日本 | <p>(1) 保健体育科の目標を達成するために、学年ごとに「体育編」の1つの章と「保健編」の2つの章でまとめてあり、各章ごとに学びを充実させる「章末資料」を設けるなど、生徒が主体的に学びを進めることができるような構成の工夫が見られる。</p> <p>また、小単元ごとに学習の進め方や学習のねらいが明示され、「つかもう」「やってみよう・話し合ってみよう・調べてみよう」「活用して深めよう」という内容で、生徒が見通しをもって学習することができるような配列の工夫がなされている。</p> |
| 50 大修館 | <p>(1) 保健体育科の目標を達成するために、学年ごとに「体育理論」の1つの章と「保健」の2つの章でまとめてあり、学びと関わりのある「特集資料」を章ごとに設けるなど、生徒が主体的に学びを進めることができるような構成の工夫が見られる。</p> <p>また、小単元ごとに学習の進め方や課題が明示され、「課題をつかむ」「身につける・考える」「学習のまとめ」という内容で、生徒が見通しをもって学習することができるような配列の工夫がなされている。</p> |
| 224 学 研 | <p>(1) 保健体育科の目標を達成するために、学年ごとに「体育編」の1つの章と「保健編」の2つの章でまとめてあり、学びと関わりのある「探究しようよ」を章ごとに設けるなど、生徒が主体的に学びを進めることができるような構成の工夫が見られる。</p> <p>また、小単元ごとに学習の進め方や課題が明示され、「学習の目標」「課題をつかむ」「考える・調べる」「まとめる・深める」という内容で、生徒が見通しをもって学習することができるような配列の工夫がなされている。</p> |

2 内容や指導の充実

〔観点2〕 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

| 発 行 者 | 概 評 |
|--------|---|
| 2 東 書 | <p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開するために、単元冒頭にある「見つける」では、日常経験や既習事項を基に考えたり、話し合ったりするなど、学習課題を自分のものとし、課題の解決に取り組むことができる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、「課題の解決」では、問題解決的な学習を展開できるよう発問を設定し、情報の収集や資料、独自のコンテンツを基に考えたり、話し合ったりする活動により理解を深める工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、「活用する」「広げる」では、習得した知識・技能の活用や、学習したことを自他に当てはめ、再考するなど実践力の基礎づくりとなるような工夫が見られる。</p> |
| 4 大日本 | <p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開するために、単元冒頭にある「学習のねらい」では、解決したい学習課題が示され、「話し合ってみよう」では、課題をもとに話し合いが展開できるなど、課題の解決に取り組むことができる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得するために、本文を裏付け、知識を深める資料を本文と分けて掲載することで資料活用の幅を広げたり、学びの定着を図る動画コンテンツを設けたりするなど、理解を深める工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために「学びを活かそう」のページが設定しており、習得した知識・技能を活用して表現するなど、実践力の基礎づくりとなるような工夫が見られる。</p> |
| 50 大修館 | <p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開するために、単元冒頭にある「課題をつかむ」では、学習内容につながる気付きや思考を促すような見通しや興味・関心をもたせるなど、課題の解決に取り組むことができる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、覚えておきたい専門用語を「キーワード」として明示してあったり、鮮明な写真やイラストで解説してあったりするなど、理解を深める工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、深い思考を促す「関連」のコーナーや学びをもとに思考を深める「学習のまとめ」が設定してあるなど、実践力の基礎づくりとなるような工夫が見られる。</p> |

| | |
|---------|---|
| 224 学 研 | <p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開するために、単元冒頭にある「課題をつかむ」では、普段の生活や経験から課題に気付かせ、「考える・調べる」では、対話的な学びができるようにするなど課題の解決に取り組むことができる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、「教科書サイト」のコンテンツで学習支援をしたり、学びをもとに知識を身に付けることができるような「実習」のコーナーを設けたりするなど、理解を深める工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、学習のまとめとして「まとめる・深める」が設定してあり、目標を立てたり、人に伝えたりするなど、実践力の基礎づくりとなるような工夫が見られる。</p> |
|---------|---|

3 利便性の向上

〔観点3〕 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

| 発 行 者 | 概 評 |
|---------|---|
| 2 東 書 | <p>(1) 学習効果や利便性を高めるために、1単位時間の内容も見開き2ページに収めており、統一された学習の流れのレイアウトで、見通しをもって学習できるよう工夫されている。</p> <p>また、特筆すべき点として、「キーワード」を1単位時間ごと及び巻末に掲載するとともに、技能のページを開設することで知識・技能の習得を促す工夫がされている。</p> |
| 4 大日本 | <p>(1) 学習効果や利便性を高めるために、1単位時間の内容も見開き2ページに収めており、本文を左ページ、資料を右ページに区切って掲載することで、本文に集中できるよう工夫されている。</p> <p>また、特筆すべき点として、ユニバーサルデザインに対応し、書体や色づかいに配慮する等、すべての生徒に対して分かりやすいよう工夫がされている。</p> |
| 50 大修館 | <p>(1) 学習効果や利便性を高めるために、1単位時間の内容も見開き2ページに収めており、時間の見通しをもって学習できる分量を掲載することで、学習内容を明確にするよう工夫されている。</p> <p>また、特筆すべき点として、ユニバーサルデザインに対応し、書体や色づかい、線の太さに配慮するとともに、大判の資料を充実させるよう工夫がされている。</p> |
| 224 学 研 | <p>(1) 学習効果や利便性を高めるために、1単位時間の内容も見開き2ページに収めており、本文と資料のレイアウトを統一して掲載し、本文と資料の関連性が見えやすいよう工夫されている。</p> <p>また、特筆すべき点として、ユニバーサルデザインを基本に、インクルーシブ教育の実現を目指し、資料・写真を充実させることでよりよい学びを支える工夫がされている。</p> |

4 地域の願いや思い、生徒の実態等

〔観点4〕 家庭や地域と連携した学習の推進とともに、生徒の確実な基礎・基本の定着という視点から、どのような工夫が見られるか。

| 発 行 者 | 概 評 |
|--------|---|
| 2 東 書 | <p>(1) 地域と連携した学習内容として、「自然災害による傷害の防止」の単元の中では、地域安全マップの作成の手順の方法等が掲載されており、生徒が地域住民として、地域との連携の大切さや取組を具体的に学ぶことを通して、地域への愛着を育むための工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒の確実な基礎・基本の定着のために、傷害の防止・健康な生活と疾病の予防、健康と環境の各単元の「吹き出し」や「広げる」のコンテンツが配置されたり、生徒に地域のことについて調べさせたり、話し合わせたりすることで、習熟が図られるように工夫されている。</p> |
| 4 大日本 | <p>(1) 地域と連携した学習内容として、「自然災害による傷害の防止」の単元の中では、地域で起こりやすい自然災害を想起させる問いや、命を守る行動等の仕方が掲載されており、生徒が地域住民として、地域との連携の大切さや取組を具体的に学ぶことを通して、地域への愛着を育むための工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒の確実な基礎・基本の定着のために、傷害の防止・健康な生活と疾病の予防、健康と環境の各単元の「活用して深めよう」や「地域マーク」のコンテンツが配置されたり、生徒に地域のことについて調べさせたり、話し合わせたりすることで、習熟が図られるように工夫されている。</p> |
| 50 大修館 | <p>(1) 地域と連携した学習内容として、「自然災害によるけがの防止」の単元の中では、被害予測の範囲や程度、ハザードマップの重要性、命を守る行動等が掲載されており、生徒が地域住民として、地域との連携の大切さや取組を具体的に学ぶことを通して、地域への愛着を育むための工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒の確実な基礎・基本の定着のために、感染症の予防と健康を守る社会の取組等に関する各単元の「学習のまとめ」コンテンツが配置されたり、生徒に地域のことについて調べさせたり、話し合わせたりすることで、習熟が図られるように工夫されている。</p> |

| | |
|---------|---|
| 224 学 研 | <p>(1) 地域と連携した学習内容として、「自然災害による傷害の防止」の単元の中では、過去の災害から学ぶ教訓や日頃の備え、避難行動の仕方が掲載されており、生徒が地域住民として、地域との連携の大切さや取組を具体的に学ぶことを通して、地域への愛着を育むための工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒の確実な基礎・基本の定着のために、傷害の防止・健康な生活と疾病の予防、健康と環境の各単元の「まとめる・深める」のコンテンツが配置されたり、生徒に地域のことについて調べさせたり、話し合わせたりすることで、習熟が図られるように工夫されている。</p> |
|---------|---|